

第2章 個人

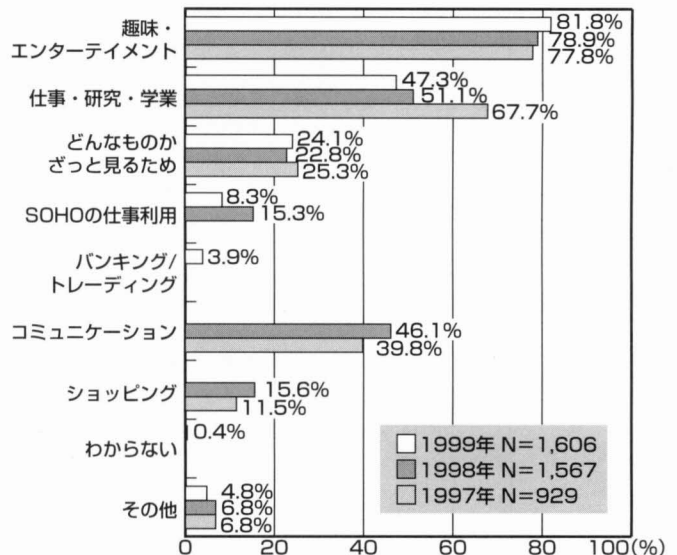
利用目的、利用レベル

「趣味・エンターテイメント」目的が増加
インターネットはより個人的なものに

資料1-2-14 インターネットの利用目的(年代別) (1997年-1999年)

	どんなものかざっと見るため	SOHOの仕事利用	仕事・研究・学業	趣味・エンターテイメント	バンキング/トレーディング	その他	わからない
10代	3.1%	0.0%	18.8%	93.8%	0.0%	0.0%	3.1%
20代	22.7%	2.6%	48.7%	89.0%	3.2%	4.5%	0.3%
30代	23.4%	10.3%	48.2%	84.1%	3.0%	4.6%	0.7%
40代	21.2%	8.1%	53.5%	84.8%	4.5%	5.6%	0.3%
50代	26.1%	13.6%	45.2%	69.8%	5.5%	3.5%	0.0%
60代以上	41.3%	7.1%	31.7%	60.3%	5.6%	7.1%	0.0%
わからない	33.3%	33.3%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	24.1%	8.3%	47.3%	81.8%	3.9%	4.8%	0.4%

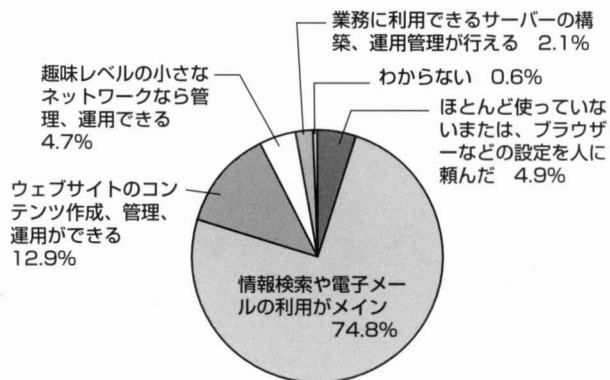
インターネット白書'99 ©インプレス,
Access Media International&IAJ, 1999



*SOHOの仕事利用、97年項目なし
バンキング/トレーディング97年98年項目なし
コミュニケーション、ショッピング99年項目なし

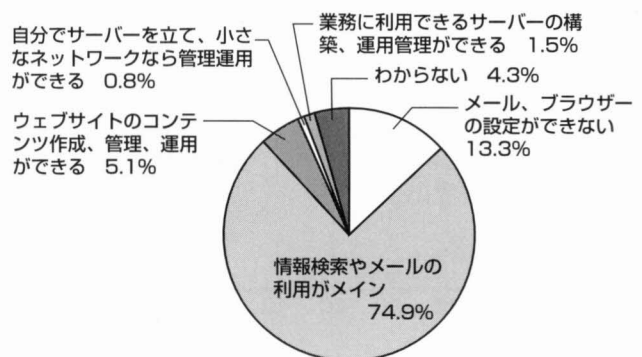
インターネット白書'99 ©インプレス,
Access Media International&IAJ, 1999

資料1-2-15 利用レベル(1999年) N=1,606



インターネット白書'99 ©インプレス,
Access Media International&IAJ, 1999

資料1-2-16 利用レベル(1998年) N=1,567



インターネット白書'99 ©インプレス,
Access Media International&IAJ, 1999

解説

インターネットの利用目的は現在の利用内容と合わせて考察する必要がある。複数回答ではあるが、今回はインターネット利用の目的として、大きく「仕事寄り」か「趣味寄り」かを明確にするために例年より選択肢を整理した。

その結果、時系列でみると、「趣味・エンターテイメント」関係が増加し、「仕事・研究・学業」が減少している。インターネットの利用は個人で大きく拡大しているが、先の利用内容でも「趣味・エンターテイメント」が増加しており、インターネット利用はより個人的なものになる傾向にある。

年代別では、全世代で「趣味・エンターテイメント」が最も高いが、10代では90%を超えて

いる。

「仕事・研究・学業」は複数回答であるため15～19歳でも20.0%あったが、20～24歳(57.1%)、40～44歳(56.6%)、35～39歳(51.5%)で50%を超えている(注:資料1-2-14は10歳きざみ)。

時間的な「ゆとり」からか、年齢の高い層でのインターネット利用が増加している。この層では「どんなものかざっとみるだけ」という回答が多く60歳以上で41.3%、55～59歳では33.3%と「インターネット」そのものへの興味が利用目的になっている。年齢の高い層では「SOHOの仕事利用」や「バンキング/トレーディング」も比較的高い。

利用レベルは、一部若干言いまわしを変えているが、昨年同様全体の約4分の3が「情報検索や電子メールの利用がメイン」(74.8%)であることは変わらない。一方「メール、ブラウザの設定ができない」回答者は半減し、代わって「ウェブサイトのコンテンツ作成、管理、運用ができる」レベルが倍増している。これはインターネットが社会に浸透して、徐々に全体のレベルが上がってきたことが最も大きな要因であるが、メールやブラウザの設定が簡便化されたことや、ウェブ管理のためのさまざまなソフトウェアツールが出揃ってきたという利用環境面の整備が進んだこともその要因である。



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp